

人工知能(AI)利用に関するガイダンス: 夢を生きる賞応募について

応募者向け

応募書類における人工知能(AI)の利用について

多くの応募者が、応募書類の作成にあたって人工知能(AI)を活用することを選択される場合があることを承知しています。これらのツールを使用される場合は、ご自身の文章や考えを置き換えるのではなく、より良くするために活用されることをお勧めします。私たちが求めているのは、コピー＆ペーストで最適化されたAIの文章ではなく、あなた自身の経験を反映した応募書類です。

AIが生成した文章には、審査員が求める個人的な声や本物の感情が欠けています。作文部分は、応募者ご自身の独自の経験と目標を反映するためのものです。

ソロプチミストは、応募書類の審査にAIを使用しません。すべての応募書類は、人の手によって読まれ、個別に評価されます。

作文部分にAIが使用されたことが明らかな場合、審査員はそれが応募者ご自身の本当の考えを反映しているかどうかを疑問視することがあり、審査結果に影響を及ぼす可能性があります。

AIによって生成されたと思われる応募書類は、確認のために返送される、または審査の対象とならない場合があります。

審査員が知りたいのは、あなた自身の言葉で語られる、あなたの経験、目標、そして将来への展望です。この点を踏まえ、応募書類を作成する際にAIツール(ChatGPT、Claude、Grammarlyなど)を使用する場合は、以下のガイドラインに従ってください。

AIツールを使用してもよいこと:

- 文法、スペル、句読点の確認(プルーフリーディング)
- すでに書いた文章の分かりやすさや流れの改善
- 書き始める前の考えの整理、または考えをより良く整理するための提案の依頼
- 英語が母語でない場合の、質問内容の翻訳・明確化、考えの表現のサポート
- 財務セクションにおける収入・支出の計算のサポート
- フィードバックの取得、設問への回答内容の確認

AIツールを使用してはいけないこと:

- 回答をゼロから作成すること
- 自分自身のものではない経験や目標を作り出すこと
- 個人的な考えや声を、一般的な表現に置き換えること

なぜこれが重要なのか

あなたご自身の経験や視点こそが、応募書類を意味のある説得力のあるものにします。個性が感じられず、型にはまった印象を与える応募書類は、審査員の心に響きにくくなります。誠実さ(オーセンティシティ)は、私たちが最も重視する要素の一つです。文章の巧みさそのものが評価されるわけではないことを覚えておいてください。多少表現が平易であったり、文法上の誤りがあっても、あなた自身の物語を映し出す回答は、審査員があなたをより深く知る手がかりとなり、洗練されてはいても曖昧で個人的な要素に欠ける回答よりも高く評価されます。一般的な内容ではなく、個性が感じられる応募書類は、受賞対象として検討されやすくなります。

心がけていただきたいポイント:

最終的な応募書類を読み返してみて、自分らしさが感じられないと思ったら、自分らしくなるまで見直してください。

AIはあくまで技術であり、人間ではないということを忘れないでください。作文部分がロボットが書いたように聞こえることは避けたいものです。誠実であること、そしてあなた自身の個性が表れていることを確認してください。それこそが、あなたの応募書類を際立たせるものです。

ChatGPTやGrammarlyなどのツールは、文法の確認や文章の分かりやすさの向上のために使用しても構いませんが、すべての回答はあなた自身の考え、経験、目標を反映したものでなければなりません。審査員にとって最も重要なのは、あなたの誠実な声です。

応募書類にご署名いただく際は、以下の内容に同意したことになりますので、ご注意ください。

「AIツールが私の文章作成を支援した可能性はありますが、私の経験、目標、そして声は、すべて私自身のものであることを誓います。」

ご質問がある場合は、SIAプログラムチーム(lydawards@soroptimist.org)までお問い合わせください。